

大阪 STI 研究会の解散についてのご報告

大阪 S T I 研究会代表幹事

腎・泌尿器科 安本クリニック

安本亮二

1992 年、大國剛先生、大里和久先生、前田善雄先生、岩佐賢二先生、児玉正道先生、早川謙一先生らが中心となり大阪クラミジア懇話会が発足。1996 年からは泌尿器科、皮膚科、産婦人科さらに公衆衛生関係各位のご参加をいただき大阪 S T D 研究会として、大阪での性感染症の勉強会に発展いたしました。さらに 2002 年から大阪 S T I 研究会として名称を変え、別表に掲載した多くの役員先生方のご協力の元に研究会の運営を行ってまいりました。クラミジア・淋病・マイコプラズマ・HPV・梅毒・エイズなどさまざまな S T I 分野の幅広い最新研究の勉強を行ってまいりました（大阪 STI 研究会の歩みを参照）。

しかし、コロナ禍により 2020 年の学術集会の延期や集会時の感染対策のため 100 名近い参加者の安全確保や Web での研究会運営面での問題などがあり、この研究会の継続が難しくなり 2021 年 6 月 26 日をもって終えることになりました。約 30 年近くの間、この研究会を運営できましたのはひとえに大阪泌尿器科臨床医会会員各位のご支援の賜物であると深謝申し上げます

今後も、性感染症に関する知識のブラッシュアップは必要と考えております。日本性感染症学会関西支部で性感染症の勉強を継続希望される先生は、当研究会の事務局かつ日本性感染症学会関西支部事務局を担当されている古林先生（そねざき古林診療所）まで、電子メール（k.furubayashi@sonezaki-fc.jp）でご相談いただけたらと思います。

会員各位の今後の益々のご健勝・ご発展を祈念申し上げ、当研究会最後の挨拶とさせていただきます。長い間ありがとうございました。

2021年2月13日現在

大阪 STI 研究会 役員一覧 (五十音順)

代 表	安本亮二 (安本クリニック・泌尿器科)
副代表	亀岡 博 (亀岡クリニック・泌尿器科) 早川謙一 (早川クリニック・産婦人科)
幹 事	岩佐 厚 (岩佐クリニック・泌尿器科) 梅川 徹 (梅川クリニック・泌尿器科) 菅野展史 (菅野クリニック・泌尿器科) 岸 良治 (岸医院・皮膚科) 木村 正 (大阪大学・産婦人科) 甲村弘子 (こうむら女性クリニック・産婦人科) 白井千香 (枚方市保健所・公衆衛生) 白阪琢磨 (大阪医療センター・内科) 高田昌彦 (高田泌尿器科・泌尿器科) 立花隆夫 (大阪赤十字病院・皮膚科) 西阪誠泰 (にしさか腎泌尿器科クリニック・泌尿器科) 野々村祝夫 (大阪大学・泌尿器科) 早川 潤 (早川クリニック・産婦人科) 淵 勲 (淵レディースクリニック・産婦人科) 吉田英樹 (大阪市保健所・公衆衛生)
監 事	川畑拓也 (大阪健康安全基盤研究所・微生物部) 前田義雄 (前田ヒフ科・泌尿器科)
顧 問	大里和久 (大里クリニック・内科)
事務局	古林敬一 (そねざき古林診療所・性感染症)

大阪 STI 研究会の歩み

- 1992 年 大阪クラミジア懇話会発足。
- その後、大阪 STD サーベイランス研究会に名称変更。
- 1996 年 11 月 大国診療所を事務局として大阪 STD 研究会発足。
- 第 5 回学術集会。（荻田幸雄先生：性行為と産科感染症、守殿貞夫先生：泌尿器科領域におけるクラミジア感染症）
- 1997 年 6 月 第 6 回学術集会。（阪上賀洋先生：HIV 感染者と AIDS 感染者の管理）
- 11 月 第 7 回学術集会。（木本絹子先生：タイ北部のエイズ流行と女性問題）
- 1998 年 5 月 第 8 回学術集会。（田中正利先生：淋菌及びクラミジア感染症の現状）
- 12 月 第 9 回学術集会。（笹川寿之先生：HPV と STD）
- 1999 年 6 月 第 10 回学術集会。（山西弘一先生：HHV と STD について）
- 11 月 第 11 回学術集会。（高須俊明先生：ヘルペスウイルス神経系合併症）
- 2000 年 6 月 第 12 回学術集会。（笹川寿之先生：HPV の臨床、白木公康先生：HSV の臨床）
- 12 月 第 13 回学術集会。（中西淳朗先生：医学史よりみた梅毒）
- 2001 年 6 月 第 14 回学術集会。（白阪琢磨先生：エイズ診療の現状と課題、小島弘敬先生：淋菌感染症の治療を中心として）
- 12 月 第 15 回学術集会。（熊本悦明先生：大阪地区における STD サーベイランス、本山覚先生：女性の STD について）
- 2002 年 6 月 大阪 STI 研究会に名称変更。
- 第 16 回学術集会。（市川誠一先生：大阪における HIV 感染の動向と予防への取り組み）
- 12 月 第 17 回学術集会。（中園直樹先生：カンボジアの AIDS と HIV 感染の現状報告、熊

本悦明先生：全国性感感染症サーベイランス報告)

- 2003年 7月 第18回学術集会。(白阪琢磨先生：HIV感染者の外来管理)
- 11月 第19回学術集会。(田中正利先生：淋菌感染症における最近の話題)
- 2004年 6月 第20回学術集会。(保田仁介先生：STDにおける最新の治療戦略、島本郁子先生：
性虐待の実態とその対策)
- 11月 第21回学術集会。(松本哲朗先生：泌尿器科領域における STI、石河修先生：ホー
ムドクターのための女性尿失禁の治療)
- 2005年 6月 第22回学術集会。(満屋裕明先生：抗 HIV 薬開発の最前線)
- 12月 第23回学術集会。(井上正樹先生：子宮頸がん検診の精度管理)
- 2006年 6月 第24回学術集会。(出口隆先生：性感感染症におけるマイコプラズマの役割)
- 11月 第25回学術集会。(薬師寺道明先生：性教育か・性感感染症教育か)
- 2007年 6月 第26回学術集会。(白木公康先生：性器ヘルペスの再発抑制療法、白阪琢磨先生：
HIV 感染症の診療連携)
- 12月 第27回学術集会。(岩田健太郎先生：性感感染症診断とその周辺)
- 2008年 6月 第28回学術集会。(笹川寿之先生：若い男女における HPV 感染の現状と増加する
子宮頸がん)
- 11月 第29回学術集会。(松田静治先生：日本における性感感染症の歴史)

- 2009年6月 第30回学術集会。（保田仁介先生：性感染症の診断と治療、高橋聡先生：咽頭淋菌感染および耐性菌の診断と治療の最前線）
- 11月 第31回学術集会。（澤村正之先生：STI 最近の話題）
- 2010年6月 第32回学術集会。第1回日本性感染症学会関西支部と共催。
（前田初彦先生：口腔領域のHPV感染、笹川寿之先生：HPV感染と癌）
- 11月 第33回学術集会。（溝上雅史先生：肝炎ウイルスとSTD）
- 2011年7月 第34回学術集会。（松尾匡先生：性感染症と日本経済、川名尚先生：性器ヘルペス研究の40年を振り返って）
- 2012年6月 第35回学術集会。（吉田忠美大阪府警生活安全部管理官：性風俗をとりまく現状について、重原一慶先生：男性におけるHPV感染症、川名敬先生：HPVワクチン）
- 2013年6月 第36回学術集会。（白阪琢磨先生：開業医が知っておくべきHIV診療の最新情報、日高庸晴先生：MSMのHIV/STI感染リスク行動とその関連要因）
- 2014年6月 第37回学術集会。第4回日本性感染症学会関西支部と共催。（松尾匡先生：性感染症の動向を経済学で読み解く、瀧砂良一先生：マイコプラズマによる性感染症の基礎と臨床）
- 2015年6月 第38回学術集会。（白木公康先生：ウイルス学の進歩と性感染症）
- 2016年6月 第39回学術集会。（尾上泰彦先生：アトラスで見る・これが性感染症だ）
- 2017年6月 第40回学術集会。（梅毒に関する会員発表5題）
- 2018年6月 第41回学術集会。第7回日本性感染症学会関西支部と共催。（伊藤晋先生：抗菌薬が奏功しがたい尿道炎、川名敬先生：産婦人科感染症に注目してみよう）
- 2019年7月 第42回学術集会。（仲瀬裕志先生：消化器症状を呈する性感染症）
- 2020年 新型コロナ流行に伴い学術集会中止。
- 2021年4月 第43回学術集会（Web開催）。（上田豊先生：HPV関連疾患とワクチン）

6月 総会で解散を承認。